

■犬養毅 生涯を政党政治家として活動、最後に首相になるも、軍部急進派に攻撃され、〈五・一五事件〉で射殺。

いぬかいつよし

安政大地震・1855＝ 備中国(岡山県)庭瀬藩の郷士の家の次子に生まれる。

桜田門外変・1860＝ 5歳：

禁門の変・・・1864＝ 9歳：

明治維新・・・1868＝13歳：〈明治維新〉となる。

明治6年政変 1873＝18歳：

初の民間工場1875＝20歳：上京して、
三つの反乱・1876＝21歳：慶応義塾に入学。在学中から〔郵便報知新聞〕に寄稿し、
西南戦争・・・1877＝22歳：記者として西南戦争に従軍、戦地からの直報で名声を博する。

・・・1880＝25歳：慶応義塾を中退し、朝吹英二、豊川良平とともに〔東海経済新報〕を発刊、保護貿易論を唱え、自由貿易論を主張する田口卯吉の〔東京経済雑誌〕と対抗した。交詢社創立にも参加。

明治14年政変1881＝26歳：福沢諭吉の推薦で、統計院権少書記官となったが、いわゆる明治14年の政変により、大隈重信に従って下野し、再び〔郵便報知新聞〕記者となった。

新体詩抄・・・1882＝27歳：尾崎行雄らと東洋議政会を組織し、これを母体とする立憲改進黨の結成に参加。東京府議、

帝国大学始・1886＝31歳：〔朝野新聞〕に移り、
国民之友始・1887＝32歳：大同団結運動で活動。

帝国憲法公布1889＝34歳：大同倶楽部を結成、
帝国議会始・1890＝35歳：*第1回総選挙に岡山県第3区から立候補当選。

足尾鉍毒始・1891＝36歳：以後第18回総選挙まで連続当選し、42年間にわたって衆議院に議席を保持する。

日清戦争始・1894＝39歳：

白馬会・・・1896＝41歳：進歩党の結成に参加、長州閥・自由党に対抗するため薩摩閥に接近し、第2次松方正義内閣と提携した。

子規句歌革新1898＝43歳：自由・進歩両党が憲政党に合同し隈板内閣が成立すると、尾崎行雄辞任後の文相となった。

ピアノ国産化・1900＝45歳：憲政党分裂後は憲政本党筆頭総務に就任し、

いわゆる桂園時代を野党の闘士として送り、山県系官僚と結んで政権接近を策す改革派に対し、非改革派を率いて抗争を重ねた。この間、日本に亡命していた金玉均、孫文らを庇護し、

日露戦争終・1905＝50歳：中国革命同盟会結成を援助するなど、大陸問題への強い関心ぶりを示した。

伊藤博文暗殺1909＝54歳：

韓国併合・・・1910＝55歳：立憲国民党を結成し、

明治天皇没・1912＝57歳：*大正政変に際しては桂太郎の新党に党員の過半を奪われたが、政友会の尾崎行雄らと提携して護憲運動の先頭に立ち、尾崎とともに“憲政の神様”と併称される。

大正政変・・・1913＝58歳：しかし第1次山本権兵衛内閣には好意をよせ、

第一次大戦始1914＝59歳：シーメンス事件にもあいまいな態度をとり、

ロシア革命・1917＝62歳：寺内内閣の臨時外交調査会に参加して人気を落とした。

本格政党内閣1918＝63歳：以降、普通選挙を唱え、

原敬首相暗殺1921＝66歳：

水平社結成・1922＝67歳：革新倶楽部を結成し、

関東大震災・1923＝68歳：第2次山本内閣の通相となった。

護憲三派圧勝1924＝69歳：憲政会、政友会と結んで第2次護憲運動を推進し、護憲三派内閣の通相となったが、

治安維持法・1925＝70歳：普通選挙が成立すると革新倶楽部を政友会へ合同させ、政界を引退。しかし後援者の要請でみずからの欠員による補欠選挙に当選。

金融恐慌・・・1927＝72歳：

世界恐慌・・・1929＝74歳：田中義一急死後の政友会総裁に迎えられ、ロンドン条約問題では軍部、政友会に呼応して浜口内閣の統帥権干犯を攻撃(統帥権干犯問題)。

満州事変・・・1931＝76歳：*政友会内閣を組織し、金輸出再禁止をおこない、軍部に同調しつつも満州事変の收拾をはかったが成功せず、議会政治擁護の主張で軍部急進派の攻撃的となり、

五一五事件・1932＝77歳：*五・一五事件で射殺された。

犬養内閣は第2次大戦前における最後の政党内閣であった。